

第1日目 6月18日(土)

受付開始 9:30 中ホールロビー
開会挨拶 10:00 - 10:15 中ホール
《午前》

研究発表 I (10:30 - 12:30)			
会場: E-205 「劇場」 司会 法月敏彦	会場: E-207 「海外の演劇手法」 司会 市川 明		
上演空間の拡張 —R・シェクナー「環境演劇」を中心に 江口正登 (東京大学大学院生)	アンドレア・ダンバーの遺産 — underclass の現前 (プレゼンス) と verbatim theatre の技法 — 大西洋一 (秋田大学教育文化学部)		
再生される「劇場」 齋藤理恵 (早稲田大学大学院生)	ニードカンパニーの悲劇の三部作における「不在」の演劇美学 平田栄一朗 (慶應義塾大学文学部)		
地域劇場を運営するアートNPOのための 人材育成 五島朋子 (鳥取大学地域学部付属芸術文化センター)			

昼休み 12:30 - 13:30

《午後》

会場: 中ホール 講演 「劇場と社会の今 ~ 地震、雷、火事、親父 ~」 佐伯隆幸 (演劇評論家)	研究発表 II (15:15 - 17:15)
会場: E-205 「伝統芸能」 司会 伊藤真紀	会場: E-207 「日本、アジアの特定の劇場状況」 司会 小菅隼人
鴻池幸武の文楽評 — その立ち位置を探る 多田英俊 (京都府立嵯峨野高等学校)	「府民館」を通じてみる演劇の大衆化 ~ 1930年代の「劇芸術研究会」を中心に ~ 李知映 (東京大学大学院生)
天正狂言本の劇構造 長島平洋 (会友)	中高齢観客を呼び戻す劇場 李惠貞 (韓国中央大学校公演映像学部)
十三代目守田勘弥と武者小路実篤戯曲 — 文芸座公演を中心に 岡本光代 (明治大学大学院生)	地域文化拠点としての公民館 — 沖縄市泡瀬 公民館の舞台と京太郎芸 浅香怜子 (民俗芸能研究者)

17:30～懇親会 (学生食堂)

第2日目 6月19日(日)

受付開始 9:30 中ホールロビー

《午前》

研究発表 III (10:00 - 12:30)			
会場: 中ホール 「劇場と社会」 司会 林公子	会場: E-207 「特定の日本の劇場状況」 司会 扇田昭彦		
向社会的存在としての劇場 上田淳子 (日本大学芸術学部演劇学科)	公共劇場が地域社会に果たす役割とは何か — 神奈川芸術劇場の取り組みを通して 宮津大蔵 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部)		
劇場に見る『組踊の系譜』 —朝薫の組踊五番 の舞台から近代沖縄芝居の劇場、そして現在へ 与那覇晶子 (琉球大学大学院生)	大阪演劇祭が行われて、そして消えた助成制度と場所、<大阪市立芸術創造館>の変遷 菊川徳之助 (演出家)		
デモストレーション発表 メタファーとしての「劇場」から見つめる 人生と社会 ~ドラマセラピーの一手法を使って~ 尾上明代 (立命館大学大学院)	デモストレーション発表 ピッコロシアターの歩みと可能性 本田千恵子 (兵庫県立ピッコロ劇団)		

昼休み (理事会 西棟2階第3会議室) 12:30 - 13:30

《午後》

会場: 中ホール 講演 「劇場と社会の今 ~ 地震、雷、火事、親父 ~」 佐伯隆幸 (演劇評論家)	総会 河竹賞授賞式 (記念レクチャー) 「不条理劇の方法論」 小田中章浩 「大衆芸能から見える国民的なもの——アメリカ」 楠原 (斎藤) 偕子 会場: 中ホール
会場: E-205 「伝統芸能」 司会 伊藤真紀	講演 「劇場と労働」 真野 純 (神奈川芸術劇場・神奈川県民ホール館長) 会場: 中ホール
鴻池幸武の文楽評 — その立ち位置を探る 多田英俊 (京都府立嵯峨野高等学校)	上演「3.11をめぐって」 (日本大学大学院生・日本大学芸術学部生) 会場: 中ホール
天正狂言本の劇構造 長島平洋 (会友)	閉会挨拶 会場: 中ホール
十三代目守田勘弥と武者小路実篤戯曲 — 文芸座公演を中心に 岡本光代 (明治大学大学院生)	

*17日(金) 19時～ 会場: 中ホールロビー

前夜祭集会「天災、人災による東日本大被害に対し、演劇研究・教育者は何ができるか、すべきか」毛利三彌、他